

# 岐阜県家庭教育学級実践事例

## 学校行事参加型+体験活動参加型（こども園）

学校名等	大垣市立綾里こども園
実施日時	令和7年11月12日(水)
会場	綾里こども園、綾里小学校
参加人数	5歳児とその保護者30人(講師の方4名含む)
学習課題(分野)	凧作り、凧あげ(家族の大切さ・自立心)
運営者の願い	本活動を通して、親子が同じ目標に向かって協力する時間を大切にし、家庭でのかかわりを深めてほしいと願った。また、地域の方々との交流を通して、人とのつながりの大切さや地域文化の温かさを感じてほしいと考えた。

### 学習の内容

#### <目的>

- ・ 親子で協力しながら活動する中で、子どもの考えや工夫を受け止め、家庭教育の実践につなげる。
- ・ 凧づくりを通して、5歳児が自分なりに工夫し、最後までやり遂げる経験を積む。
- ・ 地域の方に教わる体験を通して、話を聞く姿勢や感謝の気持ちを育て、家庭教育の土台となる人との関りを学ぶ。

#### <事前準備>

事前に家庭で凧に自分の名前を書き、ペンや絵の具を使って自由に絵を描いた。家庭で保護者とかかわりながら準備を進めることで、活動への期待を高めるとともに、それぞれの思いが表れた個性豊かな凧が完成した。

#### <取組の様子>

大垣凧愛好会の方々を講師に迎え、親子で凧づくりを行った。講師の丁寧な説明を聞きながら、親子で相談し、協力し合っ一つの凧を完成させる姿がみられた。

完成後は小学校の校庭に移動し、凧あげを行ったが、当日は風が弱く、凧が思うように揚がらない場面も多く見られた。それでも子どもたちは、保護者と励まし合いながら何度も挑戦し、うまくいかない経験も含めて楽しむ姿が見られた。親子で気持ちを共有する中で、親子の触れ合いと地域交流の大切さを実感できる活動となった。



#### <アンケートより>

- ・ 子どもが自分なりに考え、工夫しながら取り組む姿を近くで見ることができ、成長を感じられた。
- ・ 上手いかないことも含めて楽しむ子どもの姿を見ることができてよかった。



### 親子と地域がつながる活動

家庭での準備から当日の活動までを通して、親子の関わりと、大垣凧愛好会の方々との地域のつながりを実感できる家庭教育学級の取組みとなった。



### 家庭にも広がる取組

子どもたちが凧を持ち帰り、活動後も「またやりたい!」と家庭でも楽しむ姿が見られた。